

【オリジナルティーチングプラン】

新聞の活用から思考力・表現力の育成へ

守谷市立松前台小学校

1 はじめに

本校は、平成25年度26年度に、守谷市の研究委嘱を受けて「自分の思いや考えを表現できる児童の育成—国語科の説明的な文章における単元を貫く言語活動を通して—」をテーマに研究を続けてきた。国語科の授業の工夫に重点をおきながらも多面的に「考える力」「表現する力」を付けていきたいと考えた。その一つとして高学年を対象に新聞を活用したいと考えた。社会に目を向け、そこから得た事実に対する考えを広げたり深めたりすること、そして自分の考えを表現していくことを継続して進めることにした。今年度、守谷市よりオリジナルティーチングプランとして新聞の購入を許可していただき、下記のような取り組みを行った。

2 実践

(1) 新聞が児童の身近になる環境の整備

4年生から6年生の各教室に新聞を置くことができるラックを購入し、新聞社ごとに分けて置けるようにした。家庭で新聞をとっていない児童が約1割程度いる。身近に新聞を置くことで、新聞を手にする機会が増えるように工夫した。最初はスポーツ記事を読む傾向が見られたが、次第に社会面や地方記事にも目を向ける姿が見られるようになった。



新聞ラック

(2) 外部講師を活用した新聞についての学習

6月26日に5年生、7月9日に6年生が新聞社の方を講師に迎えて、新聞についての関心や意識を高める出前授業を実施した。

① 第5学年「新聞記事の書き方」＜茨城新聞社協力＞

茨城新聞社から記者2名を講師として迎え、新聞記事の書き方について重点的に話していただいた。記事の紙面構造、見出しの付け方（10文字以内）、記事の書き方（大事なことから書く逆三角形の形）を教えていただいた。文章を読み、実際に見出しを付ける学習にも取り組んだ。



茨城新聞社の記者さんによる授業

② 第6学年「新聞記事の読み方」＜毎日子ども新聞社協力＞

毎日子ども新聞社から記者1名を講師として迎え、新聞記事の読み方について話していただいた。記者という立場から書き手の意図を示し、3つの記事を読み比べることで読み手の受け方の違いについて考えた。実際に現場に向かったり、著名な人々と交流したりする記者の話には説得力があった。紙面の構成について知る機会にもなり、記事を読み比べたりすることの面白さを感じることができた。



毎日子ども新聞社の記者さんによる授業

(3) 新聞を生かした国語科の授業展開

① 第5学年の国語科単元：「森林新聞を作って交流し合おう」―森林の贈り物―

出前授業を受けて、森林新聞を作ることをねらいとした学習に取り組んだ。教材文を読んで森林に関心をもち、調べてみたい課題を見つけて「森林新聞」にまとめていく。特に、リード文の付け方や紙面構成を工夫することに重点をおいた。新聞の紙面づくりを参考にしながら学習が進められた。

② 第6学年の国語科単元：「書き手のくふうを考えながら新聞の投書を読もう」「わたしの意見を書こう」複合単元

2つの単元を複合的に扱う。教材文に提示された4つの投書を読み比べて共感できる投書を考える。読み比べる視点から、書き手の意図を探り、自分の意見文を書くことに生かしていく。実際に新聞記事をいくつか選択し、一番印象に残った記事について考えをまとめる学習も取り入れたことで思考力の向上につなげることができた。

(4) 表現力の向上

① 第4学年の実践：「新聞スピーチ」

教師が選んで切り抜きをした記事から感じたことを毎朝スピーチする。切り抜きは、シートに挟んでおき、自分で選択する。日直当番の児童がスピーチ担当なので無理なく続けられる。

② 第5学年の実践：「気になる新聞記事をスクラップ」

週に1回を目安にして、気になる新聞記事を1つ選んでスクラップブックに貼付した。その記事から感じたことを自分の言葉で表現した。

③ 第6学年の実践：「新聞を読んで感じて考えて」

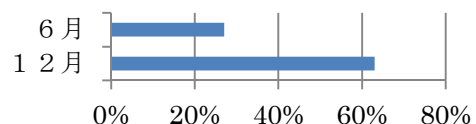
B4紙面の右側半分新聞記事を貼付し、左側に事実から感じたことや思ったこと考えたことをまとめた。廊下に掲示し継続することにした。階段踊り場にも掲示



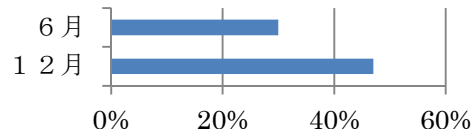
3 考察

オリジナルティーチングプランを活用した取組やこれまでの学習により、6年生の児童は、環境や政治に、5年生はスポーツや宇宙などに関心が広がっている。新聞を活用したことで児童の視野が着実に広がっている。「新聞を読んで自分の考えが広がった」と答える児童も着実に増えている。児童の身近に新聞を置いたことで、積極的に新聞を手にする児童が増えたと考える。「新聞を活用した学習から、自分の新聞づくりに活かすことができた」と答える児童も増えてきている。「見出しの書き方を工夫した」「要約する力が付いた」と答える児童も見られた。

5年6年 「新聞を読んで自分の考えが広がった」と答えた児童の割合



5年6年 「新聞を活用した学習から自分の新聞作りに活かすことができた」と答えた児童の割合



4 課題

思考力と表現力の向上を目標に試行錯誤しながらの1年であった。今後は、新聞教育を計画的に進めていくことが大切であると感じる。具体的には、関連ある教科の洗い出しを行い、年間計画等に位置付けて系統的に進めることである。自分の思いや考えを表現する力も確実に伸びているので、新聞の手法を積極的に児童に身につけさせ、主題にせまっていきたい。